

一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を作成し、原則、原文のまま掲載をしています。

ここに掲載できない質問答弁は、八女市ホームページ等でご覧ください。

一般質問

質問者	質問事項	掲載ページ
牛島 孝之	1 公立八女総合病院の現在の実態及び今後について八女市としての様に考えているのか 2 八女市の正職員及び非正規公務員（職員）について 3 八女市の教育及び文化についての考えは	9
橋本 正敏	1 高齢者の移動に関する施策について 2 若者の起業、移住の支援について	9
栗原 吉平	1 台風・豪雨の防災について 2 介護保険事業計画の進捗状況について	10
川口 堅志	1 商店街再生について 2 高齢者の働き場所について 3 八女茶をはじめとする農産物について	10
高橋 信広	1 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について 2 防災面及び環境面の水問題について 3 健康寿命の延伸について	11
中島 信二	1 防災対策について	11
堤 康幸	1 ナシ赤星病撲滅対策の進捗状況について 2 貴重な樹木の保護について	12
萩尾 洋	1 買い物難民に対する市の施策について 2 安心・安全な通学路の確保について	12
高山 正信	1 八女市の農業の現状について 2 農地中間管理事業法の見直しについて 3 新規就農者について 4 老朽化した社会体育施設について	13
森 茂生	1 農薬の安全性について 2 民生委員について	13
松崎 辰義	1 介護保険制度について 2 子育て支援について 3 交通安全について 4 福祉について 5 環境問題について	14
三角 真弓	1 森林の保全と林業の振興について 2 新庁舎建設について 3 予防医療対策について	14
石橋 義博	1 八女市経済の発展と雇用の充実、それに伴う人口減少をどう捉えているのか	15

公立八女総合病院の今後について 八女市としての考えは



牛 島 孝 之

答 今後も地域医療構想の動向を注視し対応していきたい



問 企業団を構成する町や市との話し合いは、その後どうなっているのか。

答 公立八女総合病院企業団内の病院機能再整備検討委員会で調査研究が行われており、その結果を企業団議会で協議され、その後、構成市町に提案される。この提案を踏まえ協議をしていく。

八女市の正職員及び非正規公務員について

問 八女市の正職員及び非正規公務員の人数は。

答 令和元年11月1日現在の正規職員は556人、再任用職員は31人、非正規職員のうち嘱託職員は

250人、臨時職員は120人であり、合計で957人である。

八女市の教育及び文化について

問 小学校の特別教室に対するエアコン設置は。

答 現在中学校及び義務教育学校の特別教室のうち76%、小学校の特別教室のうち41%に対して設置している。

今後の設置については、特別教室の利用状況や室内環境の状況等を勘案の上、国の補助制度を活用しながら対応していきたい。



橋 本 正 敏

問 指定管理者制度の施設、JAや商工会議所・商工会等と連携した割引・回数券などどうか。

答 さらなる付加価値を加え経済効果に反映させべく研究していく。

問 高齢者の事故抑制の施策はあるか。

答 八女シニア・ドライビングスクールの開催や自動車のアクセル踏み間違い防止装置、自動ブレーキのついたサポートカー等研究していく。

問 若者の移住・定住の支援は十分か。

高齢者の運転免許証
自主返納者に対する
優遇措置は

答 現在、6万円分の八女市タクシー
共通回数券がある



星の文化館「はやぶさ2」1/2モデル

問 起業に対する施策は。

答 新規創業・新事業展開補助金及び新規創業資金等借入者信用保証料・利子補給補助金がある。

問 起業に対する施策は。

答 大学との連携推進や星の文化館のはやぶさ2のモデルを生かした施策等を展開していく。

また、八女創業塾の開催やサテライトオフィス誘致を行っている。

問 IT関連分野や宇宙に関する仕事等をめざす若者の取り込みは。

答 大学との連携推進や星の文化館のはやぶさ2のモデルを生かした施策等を展開していく。

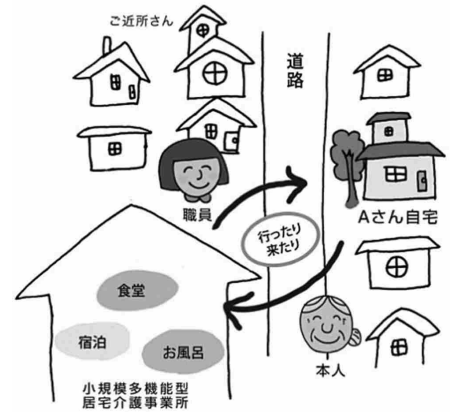
介護保険事業計画の進捗状況は

答 推進委員会に報告し着実な事業の推進に努めている



栗原吉平

地域の中で、自宅を中心に



自宅での生活を支える小規模多機能型居宅介護事業所の介護サービス

- 問** 第7期介護保険事業計画も残すところあと一年、これまでの進捗状況は。
- 答** 地域包括ケアシステムの深化、推進を図ると共に介護保険制度の持続可能性の確保に向け、自立支援、重度化防止など具体的な取り組みを行った。
- 問** 第7期の計画では、サービス事業所が少ない東部3カ所に小規模多機能居宅介護事業所を誘致する、としているが進捗は。
- 答** 上陽・矢部・星野の3カ所に設置の目標だったが、公募したものの応募がなかった。
- 問** 応募がないから設置しないのか。
- 答** 事業者への対応をみて、今後も計画の達成に向け取り組んでいく。
- 問** 災害対策のため地域防災力の向上へ
- 問** 甚大な災害が頻繁に起こる中、国の対策の見直しや市の対策を伺う。
- 答** 激甚化及び頻発している状況下において公助だけでは対応が難しくなっている。自主防災組織の訓練や資機材整備に対する支援など、地域防災力の向上に取り組んでいる。



川口堅志

- 問** 具体的にどのような対策を取っているか。
- 答** プレミアム付商品券発行事業や新事業展開補助金等を交付している。
- 問** 過疎化が進行する旧八女郡の商店街整備は。
- 答** 商工業・農林業の振興や、地域住民等と連携して活性化に取り組んでいる。
- 問** 高齢者の働き場所について
- 問** 高齢者に優しい環境の整った販売施設を提供することは可能か。
- 答** 黒木町の各所で高齢者の方が農産物等を販売されていることは承知しているため、公共施設等の活用を研究していく。

商店街の再生への対策は

答 商店街の活性化に向けた支援を行っている



黒木町の老朽化した販売所

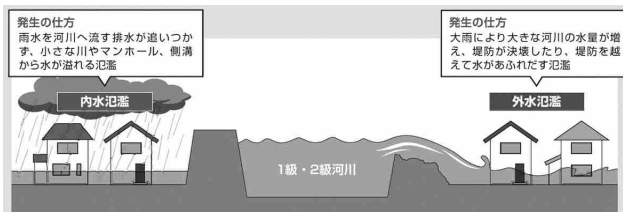
- 問** 八女茶をはじめとする農産物について
- 答** 物産展等に参加していきたいと考えている。
- 問** 八女茶発祥600年祭開催の支援は可能か。
- 答** 今後トップブランドとして重要な事なので、関係機関と連携を密にして支援をしていく。
- 問** 農産物の価格低迷で販売対策支援はあるか。
- 答** 首長によるトップセールスにて、販売活動を進めている。
- 問** 八女本舗以外に特産品販売店舗は考えているか。

都市計画マスタープラン・立地適正化計画 の中で、水問題の方向性は示すのか

答 総合的かつ専門的見地に基づき検討を進める



高橋 信 広



内水氾濫と外水氾濫のイメージ

問 河川の内側で起こる内水氾濫により浸水、冠水が発生しているが、対策としての内水氾濫ハザードマップは策定するのか。

答 国から話が出たばかりで、今後の動向をみながらどのような指標があるのか注視、研究してハザードマップ策定につなげたい。

問 浸水、冠水の原因は様々と思うが、具体的な対策はあるのか。

答 8月豪雨の際、地元行政区から多くの要望書が提出されたため、市長より県土整備事務所にに対して直接要望するとともに、市長、所長もいくつかの現場を確認している。今後、市管理河川は護岸整備やしゅんせつ等を行う一方、県にも要望していく。

問 過去に排水計画を策定されたと複数の方から聞いているが、その計画に基づいて具体的な対策、計画はないのか。

答 平成23年に福島地区の冠水対策として、外部委託して現地調査を実施して、原因は把握できている。財源がネックで具体化した実績はない。しかし、国の水害対策として、緊急自然災害防止対策事業債が河川整備に活用ができる。あるいは河川のしゅんせつ経費も国の補助として検討されているなど、財源確保に目途が立って、今後具体的な対策を進めていきたい。

問 本年3月に一部改定されたポイントは。

答 初めに住民等の円滑かつ安全な避難確保について。次に被災者保護対策の改善、避難者対策の充実について。次に平素からの防災への取り組みの強化、最後に緊急車両等の通行ルート等についての改定であった。

問 避難に関する情報伝達方法は防災ラジオ、緊急速報メール、消防車両の広報等があるが、なかなか市民への周知徹底は難しいと思う。市民は健康者だけではない、高齢者



中 島 信 二

や障がい者、子ども等、災害時の避難弱者の方たちも余裕をもって安全避難できるような避難システムを作成し、災害対策本部発令として実行してほしいと思うが。

答 防災研修会や出前講座などを通して市民に伝えるとともに自主防災組

織の育成支援など地域での避難体制の推進を図っている。

問 災害によっては避難は一刻を争う、早目の避難発令をお願いしたい。

答 全市民が安全避難できるように色々な組織と各地域の皆様のご協力をお願いしていきたい。

早めの避難を心がけましょう



答 八女市地域防災計画が平成30年に改定とあるが、主な改定内容は何か

風水害、震災、事故等対策編、資料編の4部構成である

貴重なカラタチの古木群を今後どのように保護していただけるのか



堤 康 幸

答 日当たりの改善と進入道路の整備に取り組んでいく



矢部村のカラタチの古木群

問 指定樹木の現状は。
答 樹木の天然記念物は、国指定1件、県指定11件、市指定19件の合計31件である。
問 指定樹木の保護は。
答 黒木の藤と矢部のカラタチは市が直接管理しているが、その他は所有者や地元団体が管理している。また、樹木保護について相談や要望があつた場合は、国・県指定は県文化財保護課に、市指定は、市文化財専門委員会に助言を求めて対応している。

問 矢部のカラタチが指定された理由は何か。
答 矢部のカラタチが指定された理由は、積殻地区のカラタチは推定樹齢が300年とされ、国内でも珍しい古木群であり、希少価値があると判断され平成14年に市の指定となり、合併後は市が引き継いでいる。
問 適切な管理を行い、地域振興にも活用するべきと考えるが。
答 日当たりを良くするために、周囲の杉を伐採する方向で調整する。
問 対策の進捗状況は。
答 農協、なし部会、普及指導センターと連携して取り組みを進めている。
問 ナシ赤星病撲滅対策
答 農協、なし部会、普及指導センターと連携して取り組みを進めている。
問 協力の申し出などもあり、少しずつではあるが撲滅対策の成果が出ているものと考えている。
問 荒尾市のように撲滅を完了している産地もあるが、他産地の取り組みについて調査されているか。
答 農協・なし部会とも協議し視察調査を検討したい。

問 独居老人あるいは高齢者世帯は少なくない。特に買い物難民（弱者）は把握しているのか。
答 民生委員アンケートでは、日常生活圏全域から買い物、通院が不便という記載が多い。
問 この様な移動手段を持たない方々に対して、予約の必要がない巡回バスを運行しては。
答 八女市地域公共交通網形成計画の中でも利用しやすい交通ネットワーク、いわゆる市街地循環線の導入を考えている。



萩 尾 洋

安全・安心な通学路の確保について
問 遠距離通学者に対する通学バスの運用は、検討すると返答するばかりで、どのような協議をされたのか。同じ事を5回も聞くが。
答 今回、公平を期するために基準を示したい。小学校まで4キロを超える場合、又は3キロ前後



他自治体の巡回バス



かつ通学に困難な条件がある場合、交通量が多い場合も対象になる。
問 地区の保護者会でもバス運行の要望が出たと思うが。
答 学校、保護者、それから地域の三者の意見が一致して総意として要望されたら、直ちに検討する。

答

日常生活の外出や買い物移動手段確保は不可欠と認識

高齢化が進む中、買い物難民（弱者）は少なくない日常生活への市の支援策は

基幹産業である八女市の農業をどう考えているのか



高山 正信

答 若い人が就業できるように、環境をつくっていく

問 農地中間管理事業法の改正に伴う、人・農地プランの見直しは。
答 プランの実質化を図るため、令和2年度までの策定に向けて見直し作業の準備を行っている。
新規就農者について
問 受入体制は。
答 専門の新規就農相談員を配置し、相談を受け付けている。また、支援センターで研修を行い、研修中に空き農地などを確保して研修後の就農につなげる体制をとっている。



老朽化した立花町体育館

問 地域おこし協力隊の活用は行われているか。
答 新規就農を活動内容とした募集を行っている。
問 八女には、豊富な作物があるが、技術指導をする場はあるのか。
答 支援センターでは、イチゴとトマトを研修として受け入れしている。研修品目の検討も考えていくべきと認識している。
老朽化した社会体育施設について
問 立花町体育館の雨漏りの対応は。
答 来月より全体的に調査をし、方向性を出す。

問 総合体育館及び立花体育館の今後のあり方は。
答 統合や廃止、拡充等を考えていきたい。
農薬の安全性について
問 八女市でのドローンや無人ヘリを使った農薬散布の現状は。
答 水稲など約984ha散布が行われている。
校庭での除草剤散布
問 除草剤グリホサート系(ラウンドアップ等)は、国際ガン研究所が5段階の上から2番目にガンのリスクが高いと公表した。日本の国会議員を含む28人の髪の毛を分析したら70%の人から除草剤成分が検出されたという話題になっている。
問 市内の学校校庭で除草剤を散布しているなら、直ちに中止するべきだ。



森 茂生

民生委員の活動費を引き上げるべきでは

答 県で引き上げが可決されれば、同額引き上げを協議する



問 除草剤グリホサート系(ラウンドアップ等)は、国際ガン研究所が5段階の上から2番目にガンのリスクが高いと公表した。日本の国会議員を含む28人の髪の毛を分析したら70%の人から除草剤成分が検出されたという話題になっている。
問 市内の学校校庭で除草剤を散布しているなら、直ちに中止するべきだ。
答 小学校14中10校、中学校10校中7校で除草剤を使用している。現状で使用しないとは言えない。
学校給食の安全性は
問 アメリカ、カナダ産小麦は収穫直前に除草剤を散布し、枯らしてから収穫する方法が取られている。そのため輸入小麦
答 今のところ考えていない。

車の急発進防止装置について、具体的に どういう検討がなされたのか



松崎 辰義

答 市内の高齢者の方々に試乗いただいて、好評を得ている



問 好評を得ているなら、市の広報誌、ホームページ等で周知しているが、対象者全ての方が理解しているのか。
答 理解しているのかの把握はしていない。

問 対象者と思われる人には全て申請書を送付すべきではないのか。
答 周知については、具体的に検討して実施したいと考えている。

問 認定を受けた人は、5年間のさかのぼることができるが、周知はどのようにするのか。
答 その点をわかりやすく伝えていくようにする。

問 障がい者控除について
答 介護保険制度の障がい者控除について



三角 真弓

問 本市は総面積の65.6%が森林、平成24年度の北部豪雨災害後の荒廃森林の増加と林道の荒廃、林業従事者の高齢化等厳しい現状をどう考えるのか。
答 県の森林環境税を利用し、荒廃森林再生事業を平成20年から実施している。

問 今後、森林組合・素材生産業者・小規模や一人親方等林業事業体の方々との意見交換を行う事や、林業機械の購入等の補助金の見直しを検討

答 第2期目の荒廃森林整備事業に絡めて行う。

問 新庁舎建設について
答 本市全体の利便性や建設費の将来の財政負担を考慮しているのか。

答 利用しやすい組織・機構も考え、支所とも新



平成24年北部豪雨災害の被災現場（笠原）

される等により新規就業者の増加や林業収益の向上に繋がるのではないのか。

答 電算システムで配慮する。建設費の償還期間は借り入れより30年間と考える。

問 予防医療対策について
答 国が高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成を5年間延長を決定。高齢者の肺炎による死亡率低下のためにも対象者への周知徹底を行ってほしい。

答 市の広報への掲載やハガキによる通知を行う。

答

地理的、地形的条件に合った効率的な作業形態を考える

防災・減災等環境問題も鑑み森林の保全と林業の振興をどう考えるのか

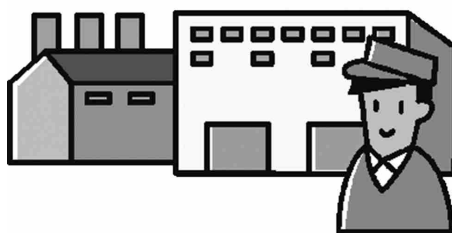
前古賀工業団地の進捗は

答 造成予定地の用地取得を進めており、早期実現に努力する



石橋 義博

問 更なる工業団地の取り組みは考えているか。
答 考えておらず、市民でやられればと思っ



問 事業規模が大きくなると民ではなく行政、市が行わないと進みにくい。雇用問題は市民の切なる要望であるが。
答 企業の誘致は、積極的に進んでいくと考えており、行政として支援できる範囲のことはやっています。

問 中山間地において経済的に定住できる策は考えているか。
答 農業においては青年就業者を支援する国、県の新規就農者支援事業に加え、八女市独自の事業を拡充、Uターンによる新規就農者を受け入れている。商工業においては、新規創業、新事業展開補助金を創設し、さらに既存事業者に補助金を交付して支援に努めている。

請願・陳情について

市政についての要望があるときは、市議会に対して請願書や陳情書を提出することができます。請願には紹介議員が必要ですが、陳情は議員の紹介は必要ありません。

●受付・審査について

請願・陳情は、原則として**議会開会日の6日前の午後3時まで**に受理したものが、その会期に審査されます。また、**閉会日の3日前まで**に受理したものは、閉会中の継続審査として所管の委員会に付託・送付されます。(土日・祝日の場合は、その前日となります。)